

(様式②-1) 平成27年度事業計画書 (局・統括本部)

[病院経営局 経営経理 課]

事業名
款 項 目
市民病院事業

特記事項
中期計画-戦略
中期計画-基本政策
新規・拡充

戦略番号	
戦略番号	

基本政策 施策番号	
基本政策 施策番号	
基本政策 施策番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		医業収益	国・県	その他	企業債	一般財源
27年度	24,676,193	19,015,655	67,843	2,469,365	1,250,000	1,873,330
補助事業 単独事業		補助率 %				
26年度	24,483,666	18,989,611	97,882	2,231,571	1,597,000	1,567,602
増△減	192,527	26,044	△ 30,039	237,794	△ 347,000	305,728

歳出		23年度	24年度	25年度
予算	事業費	20,263,865	21,838,427	21,361,705
決算	市債+一般財源	1,711,394	1,963,812	1,614,366
予算	事業費	19,299,777	20,661,715	20,758,161
決算	市債+一般財源	1,703,909	1,963,812	1,736,460

歳出		28年度	29年度
予算	事業費		
決算	市債+一般財源		

方針に関する決裁 種別() (無)

1 予算概要

	27年度計画	26年度計画	差引
収益的収入	20,648,821	20,684,467	△35,646
収益的支出	21,679,615	21,619,771	59,844
資本的収入	2,249,368	2,226,109	23,259
資本的支出	2,996,578	2,863,895	132,683
一般会計繰入金	1,873,330	1,567,602	305,728

2 業務予定量

	27年度計画	26年度計画	差引
入院患者数	205,546 人	207,262 人	△1,716 人
1日平均	562 人	568 人	△6 人
外来患者数	315,900 人	305,000 人	10,900 人
1日平均	1,300 人	1,250 人	50 人
がん検診者数	38,158 人	38,160 人	△2 人
1日平均	157 人	156 人	1 人

3 施設概要

- (1) 所在地 横浜市保土ヶ谷区岡沢町5-6
 (2) 敷地面積 20,389 m²
 (3) 建物延床面積 病院 37,292 m²
 がん検診センター 4,212 m²
 附属施設 1,745 m²
 (4) 病床数 650床 (一般624床、感染症26床)

4 過年度推移と今後の見込

	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度計画	平成27年度計画
入院	入院患者数	197,479 人	198,136 人	201,132 人	207,262 人
	1日平均患者数	540 人	543 人	551 人	568 人
	一般病床利用率	86.5%	87.0%	88.3%	91.0%
入院診療単価	60,132 円	62,764 円	63,655 円	66,500 円	66,500 円
外来	外来患者数	295,023 人	296,549 人	301,856 人	305,000 人
	1日平均患者数	1,209 人	1,210 人	1,237 人	1,250 人
	外来診療単価	13,842 円	13,950 円	14,202 円	15,000 円

※23年度から25年度の診療単価は税抜、26・27年度の診療単価は税込です。

【根拠法令】

地方公営企業法
 横浜市病院事業の設置等に関する条例
 横浜市病院事業の経営する病院条例

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	経営係経理担当
	白木 健介	小森田 秀幸	佐山 聖

(病院経営局 -)

事業評価書

事業名		款 項 目 市民病院事業	所管課	病院経営局 市民病院経営経理課		
事業概要 (Plan)	実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 法令 <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 要綱 <input type="checkbox"/> 中期計画 <input type="checkbox"/> その他 () 法令等の名称 地方公営企業法、横浜市病院事業の設置等に関する条例、横浜市病院事業の経営する病院条例				
	目的 (事業開始の経緯)	昭和35年10月開院 昭和57年～平成3年再整備				
	事業内容	市民病院は、横浜市の基幹病院として、高度医療、急性期医療及び地域に必要な医療を提供している。				
事業実績 (Do)	達成指標	指標名(単位)	24年度実績(税抜)	25年度実績(税抜)	26年度目標(税込)	
		経常収支(千円)	424,695	457,425	681,673	
		病床利用率(%)	87.0%	88.3%	91.0%	
	コスト (事業費の推移)	事業費		24年度決算(税込)	25年度決算(税込)	26年度予定(税込)
		人件費	一般職職員 従事者数			
			再任用職員 従事者数			
		概算人件費		0千円	0千円	0千円
		総事業費		20,661,715千円	20,758,161千円	24,483,666千円
増▲減		—	96,446千円	3,725,505千円		
評価の視点による点検・検証 (Check)	必要性・妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 必要性に課題がある <input type="checkbox"/> 必要性が低い 横浜市立病院として政策的医療を提供し、横浜市の地域医療の向上を図るために必要である。				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果・効果が上がっている <input type="checkbox"/> 成果・効果を上げる余地がある <input type="checkbox"/> 成果・効果が上がっていない 感染症、災害時医療、救急、周産期等の政策的医療を担っている。				
	効率性・類似性	<input type="checkbox"/> 改善・見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの余地がない 高い病床利用率を維持しながら、政策的医療にも取組むなど、量・質の面から市の医療施策に貢献している。				
	市民等外部意見を反映する仕組みと反映状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 外部委員により構成する横浜市立病院経営評価委員会により、点検・評価を受けている。				
自己評価 (Action・今後の取組)	自己評価	県内唯一の第一種感染症指定医療機関として1類感染症などの発生に備えるとともに、国及び横浜市のがん対策に対応したがん診療機能の強化や、救急医療の充実等に努め、地域医療全体の質の向上に資する役割を果たしている。また、5年連続で経常黒字を計上するなど、経営改善も進んでいる。				
	今後の方向性 (現状の課題と解決に向けた取組)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 再整備の実施に向け高いレベルで安定した経営基盤を確立するとともに、地域医療全体の質の向上に貢献できるように、これまで以上に積極的な患者の受入れを進める。				

温暖化対策(緩和策・適応策)に関する評価				
事業の分類	【緩和策】	温室効果ガスの削減・吸収に直接的に寄与する	エネルギーの安定供給・自立化と節電・省エネの推進	分野
	【適応策】	気候変動による環境変化への適応に寄与しない	【適応策】の分類を選択してください	分野
	理由	ESCO事業により、省エネルギー率の実現や、CO2排出量の削減		
実行計画との関連	26年度時点で横浜市地球温暖化対策実行計画の対象事業ではない			

(様式②-1) 平成27年度事業計画書 (局・統括本部)

[病院経営局 脳卒中・神経脊椎センター総務課]

事業名	脳卒中・神経脊椎センター事業
款項目	

特記事項	
中期計画-戦略	
中期計画-基本政策	
新規・拡充	

戦略番号	
戦略番号	

基本政策 施策番号	
基本政策 施策番号	
基本政策 施策番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		医業収益	国・県	その他	企業債	一般財源
27年度	9,932,074	5,177,420	79	1,489,717	400,000	2,864,858
補助事業 単独事業		補助率 %				
26年度	9,741,514	4,892,422	110	1,866,774	200,000	2,782,208
増△減	190,560	284,998	△ 31	△ 377,057	200,000	82,650

歳出		23年度	24年度	25年度
予算	事業費	9,199,777	10,772,550	9,297,294
	市債+一般財源	2,997,888	3,138,641	2,829,093
決算	事業費	8,378,129	9,842,923	8,917,207
	市債+一般財源	2,993,857	3,138,641	2,850,410

歳出		28年度	29年度
予算	事業費		
	市債+一般財源		
決算	事業費		
	市債+一般財源		

方針に関する決裁種別()
有 () 無 ()

1 予算概要

	27年度計画	26年度計画	差引
収益的収入	7,916,238	7,734,482	181,756
収益的支出	8,272,420	8,388,359	△115,939
資本的収入	1,201,339	940,216	261,123
資本的支出	1,659,654	1,353,155	306,499
一般会計繰入金	2,864,858	2,782,208	82,650

2 業務予定量

	27年度計画	26年度計画	差引
入院患者数	90,768 人	87,600 人	3,168 人
1日平均	248 人	240 人	8 人
外来患者数	53,460 人	48,800 人	4,660 人
1日平均	220 人	200 人	20 人
老健入所	29,280 人	29,200 人	80 人
1日平均	80 人	80 人	- 人
老健通所	10,197 人	10,131 人	66 人
1日平均	33 人	33 人	- 人

3 施設概要

- (1) 所在地 横浜市磯子区滝頭一丁目2番1号
 (2) 敷地面積 18,503 m²
 (3) 建物延床面積 病院 35,324 m²
 介護老人保健施設 3,413 m²
 職員宿舎 3,056 m²
 (4) 病床数 300床

4 過年度実績の推移

	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度計画	平成27年度計画	
入院	入院患者数	71,707 人	72,620 人	77,797 人	90,768 人	
	1日平均患者数	196 人	199 人	213 人	248 人	
	病床利用率	65.3 %	66.3 %	71.0 %	80.0 %	82.7 %
外来	入院診療単価	41,700 円	43,806 円	46,579 円	48,500 円	49,000 円
	外来患者数	34,278 人	36,017 人	42,264 人	48,800 人	53,460 人
	1日平均患者数	140 人	147 人	173 人	200 人	220 人
	外来診療単価	9,973 円	10,294 円	11,719 円	11,800 円	12,300 円

※23年度から25年度の診療単価は税抜、26・27年度の診療単価は税込です。

【根拠法令】

地方公営企業法
 横浜市病院事業の設置等に関する条例
 横浜市病院事業の経営する病院条例

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	経営経理 係
	谷口 尚三	関 哲夫	家田 裕也

(病院経営局 -)

事業評価書

事業名		款 項 目 脳卒中・神経脊椎センター事業	所管課	病院経営局 脳卒中・神経脊椎センター総務課		
事業概要 (P l a n)	実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 法令 <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 要綱 <input type="checkbox"/> 中期計画 <input type="checkbox"/> その他 () 法令等の名称 地方公営企業法、横浜市病院事業の設置等に関する条例、横浜市病院事業の経営する病院条例				
	目的 (事業開始の経緯)	脳血管疾患について、急性期から回復期までの一貫した医療を提供する病院として平成11年度開院。				
	事業内容	脳卒中、神経疾患、脊椎脊髄疾患、リハビリテーションの専門病院の運営。				
事業実績 (D o c)	達成指標	指標名(単位)	24年度実績(税抜)	25年度実績(税抜)	26年度目標(税込)	
		経常収支(千円)	▲ 1,202,816	▲ 1,061,121	3,846	
		病床利用率(%)	66.3	71.0	80.0	
	コスト (事業費の推移)	事業費		24年度決算	25年度決算	26年度予定
		人件費	一般職職員 従事者数	9,842,923千円	8,917,207千円	9,741,514千円
			再任用職員 従事者数			
		概算人件費		0千円	0千円	0千円
		総事業費		9,842,923千円	8,917,207千円	9,741,514千円
増▲減		—	▲ 925,716千円	824,307千円		
評価の視点による点検・検証 (C h e c k)	必要性・妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 必要性に課題がある <input type="checkbox"/> 必要性が低い 政策的医療を含む脳卒中、神経疾患、脊椎脊髄疾患の医療ニーズに対応していくため必要である。				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果・効果が上がっている <input type="checkbox"/> 成果・効果を上げる余地がある <input type="checkbox"/> 成果・効果が上がっていない 脳卒中、神経疾患、脊椎脊髄疾患への充実した医療機能を有しており、有効な事業である。				
	効率性・類似性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 改善・見直しの余地がない 更なる経営の効率化が必要である。				
	市民等外部意見を反映する仕組みと反映状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 外部委員で構成される横浜市立病院経営評価委員会により、点検・評価を受けている。				
自己評価 (A c t i o n)	自己評価	保健・医療施策の更なる充実が強く求められる中、当院の有する専門的・先進的な医療機能を、将来にわたり市民に提供していく必要がある。				
	今後の方向性 (現状の課題と解決に向けた取組)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 医療機能の充実と経営改善を進める。				

温暖化対策(緩和策・適応策)に関する評価			
事業の分類	【緩和策】	温室効果ガスの削減・吸収に 寄与しない	【緩和策】の分類を選択してください 分野
	【適応策】	気候変動による環境変化への適応に 寄与しない	【適応策】の分類を選択してください 分野
	理 由	地球温暖化対策と関連付けることは難しい事業です。	
実行計画との関連	26年度時点で横浜市地球温暖化対策実行計画の 対象事業ではない		

(様式②-1)

平成 27 年度 事業 計画 書 (局・統括本部)

[病院経営局計画推進担当]

事業名	
款 項 目	
みなと赤十字病院事業	

特記事項	
中期計画-戦略	
中期計画-基本政策	
新規・拡充	

戦略番号	
戦略番号	

基本政策 施策番号	
基本政策 施策番号	
基本政策 施策番号	

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一般財源等	
		医療収入	国・県	その他	市債	一般財源
27年度	4,695,484	0	64,907	2,417,996	0	2,212,581
補助事業 単独事業		補助率 %				
26年度	4,729,713	0	60,667	2,452,180	0	2,216,866
増△減	△ 34,229	0	4,240	0	0	△ 4,285

予 算	歳出		23年度	24年度	25年度
	事業費	市債+一般財源			
決 算	事業費	市債+一般財源	4,789,973	4,815,803	4,915,571
	事業費	市債+一般財源	2,223,407	2,225,003	2,227,769
	事業費	市債+一般財源	4,794,562	4,758,459	4,764,065
	事業費	市債+一般財源	2,260,046	2,225,003	2,216,820

予 算	歳出		28年度	29年度
	事業費	市債+一般財源		
	事業費	市債+一般財源		
	事業費	市債+一般財源		

方針に関する決裁 種別()
有 (年 月) ・ 無

1 予算概要 (内訳別紙)

	27年度計画	26年度計画	差引
事業収益	2,885,910	2,928,767	△ 42,857
事業費用	2,864,741	2,923,863	△ 59,122
資本的収入	1,404,598	1,379,689	24,909
資本的支出	1,830,743	1,805,850	24,893
一般会計繰入金	2,212,581	2,216,866	△ 4,285

2 業務予定量

	27年度計画	26年度計画	差引
入院患者数	196,224人	199,830人	△ 3,606
一日平均	536人	547人	△ 11
外来患者数	283,343人	280,000人	3,343
一日平均	1,166人	1,148人	18

3 施設概要

- (1) 所在地 横浜市中区新山下三丁目12番1号
- (2) 敷地面積 28,613㎡
- (3) 建物延床面積 74,148㎡
- (4) 病床数 634床 (一般584床、精神科50床)

※みなと赤十字病院は、利用料金制を導入しているため、病院を運営することで発生する診療報酬収入等及び病院運営に係る費用は、横浜市の病院事業会計に予算計上されません。

【 事業開始年度 】

平成17年度

【 根拠法令 】

地方公営企業法
横浜市病院事業の設置等に関する条例
横浜市病院事業の経営する病院条例

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	計画推進担当係員
	原田 浩一郎	川崎 貢市	石渡 準

(病院経営 局 -)

事業評価書

事業名		款 項 目 みなと赤十字病院事業		所管課	病院経営局 計画推進担当	
事業概要 (Plan)	実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 法令 <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 要綱 <input type="checkbox"/> 中期計画 <input type="checkbox"/> その他 () 法令等の名称 地方公営企業法、横浜市病院事業の設置等に関する条例、横浜市病院事業の経営する病院条例				
	目的 (事業開始の経緯)	みなと赤十字病院は、指定管理者制度を導入し、指定管理者である日本赤十字社が運営する市立病院として、平成17年4月1日に開院した。				
	事業内容	本市との基本協定に基づいて、「救急」「アレルギー疾患医療」「精神科救急」などの政策的医療などを提供している。				
事業実績 (Do)	達成指標	指標名(単位)		24年度実績	25年度実績	26年度目標
		延べ入院患者数		199,831 人	195,112 人	199,830 人
		延べ外来患者数		263,266 人	272,829 人	280,000 人
	コスト (事業費の推移)	事業費		24年度決算	25年度決算	26年度予定
		人件費	一般職員 従事者数	4,758,459千円	4,764,065千円	4,729,713千円
			再任用職員 従事者数			
			概算人件費	0千円	0千円	0千円
総事業費		4,758,459千円	4,764,065千円	4,729,713千円		
増▲減		—	5,606千円	▲ 34,352千円		
評価の視点による点検・検証 (Check)	必要性・妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 必要性に課題がある <input type="checkbox"/> 必要性が低い みなと赤十字病院では政策的医療として、①救急医療 ②小児救急医療 ③周産期医療 ④精神科救急医療 ⑤精神科合併症医療 ⑥緩和ケア医療 ⑦アレルギー疾患医療 ⑧障害児者医療 ⑨災害時医療などを提供している。				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果・効果が上がっている <input type="checkbox"/> 成果・効果を上げる余地がある <input type="checkbox"/> 成果・効果が上がっていない 平成17年4月からの指定管理者による運用開始以来、基本協定に基づき、市民への良質な医療が提供されている。特に救急医療については、患者を積極的に受け入れている。				
	効率性・類似性	<input type="checkbox"/> 改善・見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの余地がない 公設民営による効率的な病院運営を行うとともに、市民への良質な医療の提供、安全と安心の確保の一翼を担っている。				
	市民等外部意見を反映する仕組みと反映状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 みなと赤十字病院では指定管理者が、市民委員会の設置、患者・職員満足度調査の実施、「みなさまの声」の投書箱の設置など、様々な意見等を取り入れて医療やサービス向上に努めている。				
自己評価・今後の取組 (Action)	自己評価	みなと赤十字病院の指定管理業務については、その取組状況を、年2回開催する「協議会」などで、随時確認し、適宜、指導調整を行なっている。 また、毎年度提出される事業報告書や政策的医療交付金実績報告書等の書面審査や実地調査、並びに「指定管理業務実施状況の点検・評価」を行っている。25年度は133項目について点検・評価を行い、「実施しているが基準を満たしていない」としたものが1項目、「未実施」としたものが1項目あったが、その他は規定どおりに実施していると認めた。				
	今後の方向性 (現状の課題と解決に向けた取組)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 みなと赤十字病院が提供している、救急や周産期救急、アレルギー疾患医療などの「政策的医療」や、がんや脳卒中、急性心筋梗塞などの「高度急性期医療」の提供、地域医療機関への研修等を通じた「地域医療の質向上」、災害拠点病院としての機能を維持するため、現状を継続する。併せて、医療安全の取組について、病院経営局が定める規定に基づいて推進する。				

温暖化対策（緩和策・適応策）に関する評価					
事業の分類	【緩和策】	温室効果ガスの削減・吸収に 間接的に寄与する	エネルギーの安定供給・自立化と節電・省エネの推進	分野	
	【適応策】	気候変動による環境変化への適応に 寄与しない	【適応策】の分類を選択してください	分野	
	理由	24時間365日救急患者を受け入れる病院であり、病人が滞在する施設でもあるため、節電や省エネに限界がある。			
実行計画との関連	26年度時点で横浜市地球温暖化対策実行計画の 対象事業である (H27年度も対象事業である)				

(様式②-1) 平成27年度事業計画書 (局・統括本部)

[病院経営局 計画推進担当]

事業名
市 民 病 院 再 整 備 事 業 (市 民 病 院 事 業 の 再 掲)

特記事項
中期計画-戦略
中期計画-基本政策
新規・拡充

戦略番号	
戦略番号	

基本政策 施策番号	16
基本政策 施策番号	
基本政策 施策番号	

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	医業収益等	企業債	市債	一般財源
27年度	780,539	0	0	140,270	500,000	0	140,269
補助事業 単独事業		補助率 %					0
26年度	170,781	0	0	132,781	0	0	38,000
増△減	609,758	0	0	7,489	500,000	0	102,269

歳出	23年度	24年度	25年度
予 事業費	0	0	30,000
算 市債+一般財源	0	0	0
決 事業費	0	0	32,152
算 市債+一般財源	0	0	0

歳出	28年度	29年度
予 事業費	518,004	9,823,073
算 市債+一般財源	147,476	99,374

方針に関する決裁 調整会議
 (有) (26年5月) ・無

【 事業の概要及び27年度実施内容 】

事業の概要

市民病院は、昭和35年に開設し、昭和57年度から平成3年度にかけて再整備を行った。その後、医療需要の多様化や医療の進歩に対応し、医療機能の拡充や施設の増改築を行ってきた結果、特に施設の狭あい化が著しく、これ以上の医療機能の拡充だけでなく、現行の医療機器の更新も困難な状況となった。そのため、早急に再整備を進める必要がある。

27年度実施内容

- ①固定資産購入費
 - ・用地取得費の一部 (28年度から29年度まで債務負担行為設定 (限度額70億円))
- ②委託費
 - ・ボーリング調査委託：地盤、土壌調査等実施
 - ・基本設計業務：基本設計 (債務負担行為設定済)
 - ・業務支援委託：基本設計に必要な院内検討事項についてコンサルティング
- ③人件費
 - ・再整備担当にかかる人件費
- ④事務費
 - ・他病院視察等にかかる旅費交通費、コピー代等

【 実績の推移・今後見込み 】

再整備計画地である民有地所有者と土地売買契約等の締結に向けた協力を得るために、26年7月に覚書を締結し、具体的な交渉を進めている。26年9月には、基本計画が確定し、基本設計に着手した。27年度は、用地取得に向けた契約の締結をするともに、基本設計を実施する。28年度には実施設計、29年度には建設を開始し、平成32年度の開院予定である。(なお、用地取得については、27年度中に売買契約を締結する。29年度に取得予定のため、27年度当初予算で、債務負担行為を設定する。)

【 事業費の内訳 】

(単位：千円)

	27年度	26年度	差 引	説 明
①固定資産購入費	500,000	0	500,000	用地取得費の一部
②委託費	157,539	60,685	96,854	ボーリング調査、基本設計、業務支援
③人件費	120,000	107,096	12,904	再整備担当12名にかかる人件費 (単価：1,000万円)
④事務費	3,000	3,000	0	他病院視察にかかる旅費交通費、コピー代等
合 計	780,539	170,781	609,758	※一般会計負担：140,269千円

【 事業スケジュール 】



【 事業開始年度 】

平成25年度 (予算計上開始年度)

【 根拠法令 】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	計画推進担当
	原田 浩一郎	馬場 誠	山崎 信也

事業評価書

事業名		款 項 目 市民病院再整備事業 (市民病院事業の再掲)		所管課	病院経営局計画推進担当	
事業概要 (Plan)	実施根拠	<input type="checkbox"/> 法令 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則 <input type="checkbox"/> 要綱 <input type="checkbox"/> 中期計画 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (横浜市立病院経営委員会) 法令等の名称				
	目的 (事業開始の経緯)	市民病院は、昭和35年に開設し、昭和57年度から平成3年度にかけて再整備を行った。その後、医療需要の多様化や医療の進歩に対応し、医療機能の拡充や施設の増改築を行ってきた結果、特に施設の狭あい化が著しく、これ以上の医療機能の拡充だけでなく、現行の医療機器の更新も困難な状況となっている。このため、再整備に向けた検討を進めることとした。				
	事業内容	高度急性期を中心とした将来にわたる先進的な医療サービスの提供と市立病院としての役割を發揮 ・政策的医療の拠点 ・市民の健康危機管理の拠点 ・地域医療全体の質の向上のための拠点 (事業規模) 病床数：650床 外来患者数：1200人/日程度 標榜診療科：現在の診療領域を維持				
事業実績 (Do)	達成指標	指標名(単位)		24年度実績	25年度実績	26年度目標
		これまでの主な検討実績		再整備検討委員会における検討状況報告書作成	基本計画素案作成	基本計画確定 基本設計着手
	コスト (事業費の推移)			24年度決算	25年度決算	26年度予定
		事業費			32,152千円	170,781千円
		人件費	一般職職員 従事者数	0.0人	0.0人	0.0人
			再任用職員 従事者数	0.0人	0.0人	0.0人
概算人件費		0千円	0千円	0千円		
総事業費		0千円	32,152千円	170,781千円		
増▲減		—	32,152千円	138,629千円		
評価の視点による点検・検証 (Check)	必要性・妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 必要性に課題がある <input type="checkbox"/> 必要性が低い これまで施設の制約上困難であった医療機能の拡充を十分に行えるようになり、救急医療や小児・周産期医療といった政策的医療の充実、災害拠点病院としての機能強化等による三ツ沢公園と一体となった災害対策機能の強化など、市立病院としての役割をより適切に果たすことが可能となる。				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果・効果が上がっている <input type="checkbox"/> 成果・効果を上げる余地がある <input type="checkbox"/> 成果・効果が上がっていない 市民病院再整備事業の実現に向けて、基本計画(原案)を市会等にて報告し、その内容や市民意見募集の内容を踏まえて、基本計画を確定させた。また、基本設計の着手に向けた業者選定に取り組み、26年度後半より基本設計に着手する方向。				
	効率性・類似性	<input type="checkbox"/> 改善・見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの余地がない 機器・設備の更新スペースが確保できないため、大型医療機器の更新時に機器が使えなくなることなど、今後の医療需要の多様化や医療の進歩に対応した機能拡充と市民への適切な医療提供が困難となる。				
	市民等外部意見を反映する仕組みと反映状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 外部有識者8名からなる「横浜市立病院経営評価委員会」に、再整備の進捗状況を報告し、客観的・専門的視点から意見をいただいた。(26年度、基本計画に関して報告し、意見聴取) また、市民意見募集も実施済。				
自己評価 (Action)	自己評価	市の局長級職員からなる「横浜市立市民病院再整備検討委員会」検討状況報告書の内容に基づき、再整備候補地について検討を進めてきた結果、三ツ沢公園及びこれに隣接する民有地を移転候補地として選定することができた。また、外部有識者からなる「横浜市立病院経営評価委員会」に進捗状況を諮り、様々な視点から意見をいただく等、市民病院や病院経営局の内部検討に留まらない、より多角的・客観的な検討を進めることができた。今後も、市民病院の再整備を全市的な課題として認識し、十分な調整・協議を進めるとともに、求められる機能を最大限発揮できる病院の整備に取り組む必要がある。				
	今後の方向性 (現状の課題と解決に向けた取組)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・再整備用地については、26年7月に締結した覚書に従って、地権者と用地取得に向けた交渉を進めていく。 ・27年度までで基本設計、28年度に実施設計、29年度からの着工を確実に進めていく。 ・事業費においては、一般会計負担が大幅に増加しないように、全体管理をしっかり行っていく。				

温暖化対策(緩和策・適応策)に関する評価			
事業の分類	【緩和策】	温室効果ガスの削減・吸収に 間接的に寄与する	エネルギーの安定供給・自立化と節電・省エネの推進 分野
	【適応策】	気候変動による環境変化への適応に 寄与しない	その他 分野
	理由	再整備にあたって、省エネ等により環境負荷の低減に寄与する施設・設備を導入するため。(CASBEE横浜Aランク以上を想定)	
実行計画との関連	26年度時点で横浜市地球温暖化対策実行計画の 対象事業ではない		

(様式②-3) 平成27年度課題検討事業審査書

[病院経営局 計画推進 担当]

事業名
市民病院再整備事業 (病院事業会計)

特記事項	
中期計画-戦略	
中期計画-基本政策	○
新規・拡充	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般会計繰入金	
		国	県	医療収益等	企業債	市債	一般財源
(要求) 審査	(780,539) 780,539	-	-	(140,270) 140,270	(500,000) 500,000	-	(140,269) 140,269
前年度	170,781	-	-	132,781	-	-	38,000
増△減	609,758	-	-	7,489	500,000	-	102,269

歳出	23年度	24年度	25年度
予事業費	-	-	30,000
算市債+一般財源	-	-	-
決事業費	-	-	32,152
算市債+一般財源	-	-	-

歳出	28年度	29年度
予事業費	518,004	9,823,073
算市債+一般財源	147,476	99,374

方針に関する決裁 調整会議
有 (26年5月) ・無

【事業の概要】

市民病院は、昭和35年に開設し、昭和57年度から平成3年度にかけて再整備を行った。その後、医療需要の多様化や医療の進歩に対応し、医療機能の拡充や施設の増改築を行ってきた結果、特に施設の狭あい化が著しく、これ以上の医療機能の拡充だけでなく、現行の医療機器の更新も困難な状況となっているため、再整備を実施する。

【平成27年度実施内容と事業費の内訳】

	26年度予算額 (A)	27年度要求額 (B)	27年度審査額 (C)	差引 (C)-(A)	説明
委託費	60,685	157,539	157,539	96,854	ボーリング調査、基本設計、業務支援委託
繰入金	24,685	78,769	78,769	54,084	
用地費	-	500,000	500,000	500,000	再整備にかかる用地取得費
繰入金	-	-	-	-	
人件費	107,096	120,000	120,000	12,904	再整備担当12名にかかる人件費
繰入金	13,315	60,000	60,000	46,685	(単価：1,000万円)
事務費	3,000	3,000	3,000	-	他病院視察にかかる旅費交通費、報償費、コピー代等
繰入金	-	1,500	1,500	1,500	
合計	170,781	780,539	780,539	609,758	
繰入金	38,000	140,269	140,269	102,269	

- ・平成26年度の繰出金の考え方について
平成26年度予算編成では、再整備にかかる繰出金については、基本設計以降の業務に関して繰出しを行うという整理を行っている。
- ・業務支援委託について
開院までの間に検討が必要となる、運営計画や医療情報システム、物流管理、業務委託、医療機器などの検討・準備について、効率的・効果的な事業遂行を実現するため、債務負担を設定し、専門的な見地からコンサルティングを受ける。

【実績の推移・今後見込み】

- ・26年7月 民有地所有者と土地売買契約に向け、覚書を締結
- ・26年9月 基本計画の策定
- ・27年度 基本設計
- ・28年度 実施設計
- ・29年度～31年度 建設工事
- ・32年度 開院

※27年度当初予算で、一部用地費の支払い、債務負担設定。

【再整備における全体図】



<施設設備について>

- ・神奈川区側に診療棟、西区側に管理棟
- ・十分な台数の駐車場を確保
- ・バスロータリー、タクシー乗場整備
- ・免震構造の採用
- ・窓等の遮音性の確保と敷地内の緑地化の推進
- ・病院と公園の一体性を向上

【審査の考え方】

要求どおり。